

令和6年度
学校法人 明星学園 認定こども園 清泉幼稚園
園の評価

《1.本園の教育目標》

【幼児の創造性を育て、健康で心豊かな人間形成の教育】

- ◎よく遊び、よく学ぶ
- ◎個性と自主性を育てる
- ◎創造の芽生えと豊かな情操
- ◎友達関係の深まりから社会性を育てる

《2.令和6年度の重点的に取り組む目標・計画》

幼稚園教育要項を踏まえ、教職員一同、子どもたち一人ひとりの「個性」を伸ばし、成長しようとする心のサポートを大切に、各学年の年齢や能力に応じたさまざまな活動の機会を与え、仲間との触れ合いや環境を活かした自然との触れ合いの中で健全な成長・発達を促せるようにする。幼保小中との連携を取り10の姿を意識して保育をする。

《3.評価項目の達成及び取組状況》

【評価結果の表示方法】

A：十分達成されている B：達成されている C：取り組まれているが、成果が十分ではない
D：取り組みが不十分である

評価項目	評価	取組状況について
幼児教育の理念や子どもの実態に適した教育課程に基づいての計画性や保育教育のあり方	A	個々の要録をもとに、しっかりと引継ぎをしその学年に合わせて子どもの成長を保育の中に取り入れ計画しながら進めている。
幼稚園教育要項に基づいた指導方法及び幼児への対応	A	不適切保育等もあるので子どもたちへの対応を職員が意識しながら対応している。小学校までに育てたい10の姿を意識した取り組みをした。
幼稚園の流れおよび教育週数	A	学校に合わせ、長期休業や行事の日程を決定している。
行事計画の実施・実態について	A	保護者アンケートでは行事が少ない、多いとあるができるだけ保護者の負担にならないよう配慮している。
運営・学級経営・組織・体制について	A	個々のクラスの担任の希望を取り入れ指導するところは改善していった。
園内研修・園外研修	B	外部の研修が多く、振り分けながら出来るだけ参加している。その分、今年は園内研修があまり取り組めなかったことが反省に残る。
子育て支援・地域との繋がり・情報発信	A	ルクミーを導入することで、保護者に向けて情報発信が写真付きで出来るようになった。七夕、清泉まつり、施設訪問等で地域との関わりも持つことが出来た。
個人情報等の管理	A	保護者に個人情報のアンケートを行っているので、大きなトラブル等はなかった。このまま続けて行くのが望ましい。
園舎・園庭の安全管理	A	チェックリストで月1回見回りをしている。破損箇所があればその都度修繕している。（ホールの天井が剥がれたので3月末に修繕予定）
他校種との交流	B	高校生のインターンシップを受け入れ、職業体験をしてもらった。清泉まつりではゲームの担当や、販売コーナーを担当してもらい交流することが出来た。

《4.教育課程の編成と実施に関する評価》

【評価結果の表示方法】
 A：十分理解できている B：理解できている C：一部努力が必要 D：努力が必要

項 目	点 検 内 容	評 価				取組状況について
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	(1) 保育・教育目標の具現化に向け、幼児の実態を踏まえた重点目標を設定している。		○			
	(2) 目標は、園や地域の特色を生かしている。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映している。	○				
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしている。	○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っている。		○			
指導について	(1) 指導計画は幼児の実態に即して作成している。	○				
	(2) 幼稚園教育要領に基づく指導援助が適切に行っている		○			
	(3) 環境の構成を意識した指導方法や課程を常に工夫している。		○			
	(4) 教材、教具を適切に活用している。	○				
	(5) 評価課程を基に、指導の改善に努めている。	○				
教育週時間数	(1) 教育週数を確保している。	○				
	(2) 登園・降園時刻と1日の流れは現行で良い。	○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切である。	○				
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的にしている。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れている		○			
経営・組織 分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっている。		○			
	(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっている。		○			
	(3) 職員の配置は、適材・適所である。		○			
	(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切である。		○			

《5.教育課程の編成と実施を支える諸条件に関する評価①》

項目	点検内容	評価				取組状況について	
		A	B	C	D		
経営・組織	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めている。		○			
		(2) 教職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言を惜しむことなく園の運営に関わっている。		○			
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切である。		○			
	学年・学級経営	(1) 学年・学級目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定している。		○			
		(2) 学年・学級目標は、幼児の実態に即して設定している。	○				
		(3) 学年・学級目標に迫る短期・長期のねらいは、適切に設定している。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っている。		○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育をしている。	○				
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積している。	○				
	保健・安全指導	(1) 学年・学級経営に生かされるような具体的保健対策を講じている。		○			
		(2) 避難訓練、交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っている。	○				
		(4) 幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っている。		○			
開かれた幼稚園づくり	学校間交流・連携	(1) 他校種との年間交流計画は、保育・教育目標や話題に添ったものになっている。		○			
		(2) 他校種の幼児児童生徒と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・指導を行っている。		○			
		(3) 指導者どうしが、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っている。		○			
		(4) 参観や指導に参加するなどして、他校種の教育を理解している。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしている。		○			
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定している。		○			
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切である。		○			
		(3) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流している。		○			
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れている。		○			

《5.教育課程の編成と実施を支える諸条件に関する評価②》

項目	点検内容	評価				取組状況について	
		A	B	C	D		
開かれた幼稚園づくり	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭、保育室等を開放している。		○			
		(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っている。		○			
		(3) 地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を行っている。	○				
		(4) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定している。		○			
		(5) 教職員による育児に係る「子育て相談」は充実している。		○			
		(6) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している。		○			
	情報発信	(1) 園だより・学級通信、ホームページ等で園の情報を発信している。	○				
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や他校種に対して周知している。		○			
	外部評価	(1) 園評議員の意見を園運営に反映している。		○			
		(2) 地域や保護者の意見を園運営に反映している。		○			
研究・研修	園内	(1) 研究主題は、保育・教育目標の具現化につながるものである。		○			
		(2) 園内研修の計画・運営は適切である。	○				
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、幼児の育ちに反映させている。	○				
		(4) 研究の実践による幼児理解が深まりを見せている。		○			
	園外	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加姿勢の充実を図っている。		○			
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元している。	○				
情報について	(1) 幼児や保護者に関する個人情報 を適正に扱っている。	○					
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っている。	○					
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理をしている。	○					
施設・設備	(1) 園舎・園庭の施設・設備の安全点検を計画的に行っている。	○					
	(2) 遊具・用具・教材等を、活用しやすいように整理・保管している。	○					
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っている。	○					
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	○					
経出 理納	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理している。	○					

《6.今年度における全体的な所見・評価》

教育目標や指導計画に沿って、職員同士が確認し合い連携を取り保育を進めていくことが出来た。保護者アンケートでは昨年度の反省点を活かすことで今年度の評価では特に指摘されることはなかった。保護者との連絡もルクミーの活用が増えたことで日々の活動を保護者に発信することが出来た。職員の途中退職があったことで職員不足（遅番・土曜日保育等）になり負担になったことはあった。

《7.総合的な評価結果》

評価	結果理由
A	保育では、未満児・幼児とお互い関わりを深め異年齢保育を日常的に行うことが出来た。職員間でも情報共有に努め保育を進めることが出来た。また大きな事故や・怪我もなく安全に運営することが出来た。

《8.今後の取り組む課題》

課題	具体的な取り組み方法
地域・学校との交流	<ul style="list-style-type: none">・小学校との関わりを積極的に進めていきたい。具体的には、学校見学や授業見学、1日入学等の参加・高校生のインターンシップ受け入れ（保育士の仕事を知らしてもらい将来の保育士育成に繋げたい）
ルクミーでの情報発信を積極的に行う	日々の子どもの様子をルクミーで保護者に伝えていく。R7年度4月から登降園システムも増えるので職員間でしっかり運営の仕方を統一していく。

《9.学校関係者の評価》

みなと小学校に入学する子が多数いるので、みなと小学校は清泉幼稚園の子どもたちに合わせてカリキュラムを作成しており、小学校へ送り出した子どもたちも清泉で学んだことを小学校でもしっかりと行動できており話の聞き方や取り組み、場の切り替えもきちんとでき素晴らしいと評価されました。

《10.財務状況の評価》

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められました。